

## 経営後継者研修だより

# ピークなんて通過点！ ～歴代で最高の期に～

## 自治会活動始まる！～自主・自律的な活動で充実の学びを！

そもそも、自治会とは46期生全員が参加し、研修成果をより高めるため自律的に活動する組織です。自治会役員主導のもと会議等を自主的に開催し、組織的な「より学びやすい環境」、「学習成果の向上」、「組織力の向上」を目指し、対話による組織の課題解決や仕組みづくりを行います。

ここで自治会役員の役割およびメンバーを紹介します。

役職	役割の概要	人員
会長	・研修生代表 兼 調整事項の総括。 ・会議、企画等進行役。事務局窓口。	1名
副会長	・会長補佐 ・振り返り会・懇親会等の企画運営責任者。	3名
書記 会計	・会議議事録作成及び議事内容の 周知（配布）・懇親会等の入出金管理	1名



### 第46期 自治会 会長から

研修が始まって1か月、自治会長としての責任を日々感じています。私はもともと人の前に立って引っ張っていくことが好きで、この役割を自ら志願しました。優秀な仲間が集まる中で、自分の力を試し成長する機会だと考えています。1か月を振り返ると、伝える力の不足を痛感し、内容を簡潔に、分かりやすく伝えることを意識してきました。これからの前期5か月間は、研修生の16名全員が一丸となり、歴代で最も団結したチームを目指したいです。最終的には「自治会長には自分以外は考えられない」と思われるような存在になり、周囲に安心感を与え、前向きな空気をつくるリーダーを目指します。余裕を持ち、思いを率直に伝えながら、誰もががついていきたいと思える会長でありたいです。（杉野 勢真）

## 経営後継者研修とその後の私の経営観

10月の研修テーマの一つに、経営者マインドの醸成があります。経営者マインド開発の講義では、「経営者」として、どうあるべきか・企業を經營することの意義を考え、「後継者」として、何をすべきか・どうありたいかを考えます。

このテーマに即して、10/6（月）午後には、本研修の卒業生2名を講師として迎え、研修中での体験談や帰社後の活動、研修での学びを自社でどう活かすのか等のお話を伺いました。また、翌7日（火）にも講義を通して、事業継承後の土台を培うためのマインドセットを行うことが出来ました。

これらを通して、今後考えていくべき「経営者」として、「人」としてどうありたいか、また企業を經營することの意義を考え、研修を通じて自分なりの経営理念・経営ビジョンを具体化させ、後継者として、「何をすべきか」、「いかにあるべきか」を考える学びとなりました。



# 経営後継研修 10か月の目標決まる

～自分を客観視することから始まった～

経営後継者研修はまず、10か月間の研修全体の内容の確認・把握を行った上で、個人ごとに、10か月間の長期にわたる研修における研修の目標を設定することからはじまります。

研修生の中には、すでに会社を継ぐことが決まっている方もいます。同時に、経営後継者としての覚悟をもって受講している方もいます。一方では、経営後継者としての覚悟が固まっていない方や、会社を継ぐことを悩まれている方もいます。

そういった研修生、それぞれの背景がある中で、目標設定の講義を経て、10か月間の経営後継者研修の目標を立てていきます

日々の業務の中は、次代を考える時間のない研修生も、自分を客観視することから始まり、10か月の目標をたてていきます。この目標こそが、10か月間の深い学びにつながっていきます。



真剣に目標を考える研修生たち  
(※講師とも相談しながら進めます)

## 10か月間の経営後継者研修の目標をたてて

会社を継ぐということ対して、自社では今まで誰にも話せませんでした。でも、年齢や性別、自社経験年数など様々に異なるけれど、経営後継者として同じ立場のみんなと話せたことが、まずは自分を客観視するという意味ではとても良かったと思います。その上で新たな自分の発見や気づきがあったことが、とても私にとってプラスになったと思います。

ただ、10か月の目標を設定することは正直難しかったです。それでも、講義での学びの過程において、みんなと話せたことで自分を顧みることができ、そのことで、この10か月間の明確な目標をたてることができました。あとは目標達成のために実践あるのみです。研修生のみんなと一緒に目標達成の喜びを分かち合えるように、最後までやり切りたいと思います。(本木 正敏)

## 10月を振り返って

慣れない環境下でがむしゃらに研修に取り組んだ10月。過ぎてみればあつという間の10か月を振り返ってみました。

### 10月を振り返って

経営後継者研修が始まり、最初の1か月が過ぎました。この期間は、自分の考え方を整理し直す大切な時間でした。これまで経験や感覚で判断していたことを、理論的に捉える重要性を実感しました。特に「経営に正解はなく、考え続ける姿勢が大切」という講師の言葉が印象に残っています。自分の強みと課題を客観的に見つけ、感情に流されず目的を明確にする意識が芽生えました。また、他の研修生との意見交換から多くの刺激を受けました。立場や環境が異なっても、課題に真剣に向き合う姿勢に学ぶ点が多かったです。11月以降は実践形式で学ぶ場が増えていきます。10月の一か月に学んだことも生かしながら、新しい知識も増やしていきたいです。経営者として一歩ずつ成長を重ね、信頼される存在を目指します。(中山 敬太郎)

10月1日に第46期経営後継者研修がスタートしてひと月が経過した。「自分には才能がなく、会社を継いでもうまく会社を運営していくことはできないのではないか」そう常に悩んでいた。この悩みは後継していない今だけではなく、会社を継いでからも常についてくる問題だろう。ただ、経営者は答えが出ない中を苦しみつつも進んでいかなければいけない存在であると、改めて覚悟を持つことができた。しかし、ただ苦しむだけでは続けられない。そのため、会社の強みと自分の隠れた強み、それを組み合わせることで楽しみつつ、失敗にへこたれず、成功するまで進んでいこう。そう思った1か月であった。(堀内 聖司)

◆ 第47期経営後継者研修 **受講申込を受付中です！**

東京校では、2026年10月1日（木）開講、第47期生の申込を受け付けています。

定員になり次第、募集を締め切ります。

ご受講を検討されている方は、お早めにお申し込み・お問い合わせください。

[経営後継者研修（東京校）](#)



## ◆ 経営後継者研修の資料請求・お問い合わせについて

研修の詳しい資料を送付いたしますので、希望される方は、以下のフォームから申請してください。

また、研修や施設をご見学いただけます。（事前予約必要）

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

[経営後継者研修 資料請求・お問い合わせ](#)

◆ 中小企業経営者・後継者のための事業承継セミナー **参加申込を受付中です！**

12月9日（火）に「中小企業経営者・後継者のための事業承継セミナー」を開催いたします。

本セミナーは、①専門家による事業承継のポイントの解説、②経営後継者研修卒業生による事業承継の現実についての講演、③経営後継者研修の概要説明、の3部構成となっております。

参加費無料、オンライン参加も可能です。詳しくはこちら↓

[【無料】事業承継セミナー「経験豊富な講師から学ぶ事業承継の成功ポイント！」](#)

